

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後くらぶエイト		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに寄り添った支援 難しいときは一緒に行ったり、声掛けして能力に合わせて個別 や小集団での療育を行う。	子どもの成長に合わせた工夫を行い、集団や個別支援にて支援 を行う。 卒業や次のステップに向けて必要なスキルを身につけられるよ うな療育。	保護者・学校・関係機関を含め、共通理解を支援に反映させ ていく。 1人1人に合わせた支援方法で楽しんで取り組んでもらい、 成功体験を増やしていってもらう。
2	保護者のニーズやそれぞれの子どものに合わせた活動内容や計画 の作成ができています。	レクリエーションとミニレクリエーションを取り入れ、静と動 での組み合わせや5領域をバランスよく取り入れた活動の取り 組み。 子どもの成長に合わせた計画書の作成、成功体験を積み重ね次 のステップに移せるようにしていく。	個々の子ども達に合った活動内容や個別活動を取り入れなが ら計画にそった支援を行っていく。
3	保護者支援 家庭や学校での様子を共有し、支援に活かしていく。	送迎の際にご自宅での様子を聞いたり、エイトでの様子をお伝 えしたりして情報の共有を行っている。	話をしやすい雰囲気づくり、子どもから話を引き出す等の工 夫を行い、支援の質を高める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流が少なめである。	地域や同年代の子どもとの交流が少ない。 老人施設の慰問、同法人内での交流は開催できているが、その ほかほとんど出ていない。	地域との関わりを行事の中に取り入れて交流やふれあいの場 を多く作っていく。 年間行事として取り入れる工夫が必要。
2	保護者同士の交流の場が少ない。 行事・訓練・研修等の様子が分かりづらい。	行事を含め、計画立てていたが自然災害や感染症等で開催出来 ていなかった。	保護者を含めた行事等を増やし、交流の機会を作る。 行事・研修・訓練等をお便り等で様子をお伝える。
3	短い時間での支援の質 個々にあった支援が上手く出来ていない時がある。	自分から発信できない子どもに対して細やかな支援が出来てい ない部分がある。	個々に合った活動内容や対応の仕方の工夫、声掛け等、集団 の中での問い方、補助時の役割割りを行っていく。小 集団での療育・個々に合った療育と不定期でも取り組めるよ うに努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後くらぶエイト

公表日 令和7年2月25日

利用児童数 21人

回収数 21/21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	9	2	0	・利用されている子供さん連が多いのでもう少し活動のスペースが広くてもいいかなと思います。	・整理整頓やレイアウトなど検討していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	3	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	7	0	2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	1	0	・難しい活動の時は一緒に先生方がやって下さったり、声掛けて下さったりと配慮されてると思います。	・今後も精進して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2	0	1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	1	・保護者との面談での聞き取り、日頃の子供の様子を見てその子に合った支援計画をしっかりと作られているように思えます。	・今後も精進して参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	2	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3	1	4	地域や同年代の子どもとの交流が少ない。	・定期的に計画していこうと思います。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	1	4	・少ないのでは？	・定期的に計画していこうと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	1	2	0	・連絡簿で状態を伝えられたり、その時の様子を個別で指導して下さったりと助かります。	ありがとうございます。今後も精進して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	2	0	・学校などでのつらい事、悩み事を聞くと親の方も気分が沈んでしまうのでその都度相談し、助言を頂いたりするので助かっています。	ありがとうございます。今後も精進して参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	19	1	1	0	・ほとんどの職員さんはいいと思います。素っ気なく冷たく感じられる方がいらっしゃいます。	・支援の質を高め、研修を行って精進して参ります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	8	1	4	・少ないのでは	・定期的に計画していこうと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	1	1		事業所としては対応出来ていると思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	1	0		送迎の際にご自宅での様子を聞いたり、エイトでの様子をお伝えしたりして情報の共有を行っている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	3	1	4	あまりホームページを見ないので発信されているか分からず、すみません。	エイト通信やラインを活用することで改善をはかって参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	5	いろいろなマニュアルの説明はありますが、訓練が行っているかわかりませんでした。	エイト通信やラインを活用することで改善をはかって参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2	1	2		安全計画をお便りにてお知らせし、事前に職員でミーティングして安全について児童に説明していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	2	2		過去1年は事故等発生していなかったが、発生した場合速やかに連絡したいと思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	1	1	長年通っていますが、まだ緊張があるようです。	児童に合わせた支援を邁進して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	2	2	体調を崩し休む日が多いので周りの子供連となかなかなじめない感じです。楽しめる活動の時は笑顔で帰って来る時もあります。モチベーションに波がありますが、楽しく通っています。	利用間隔が空いても児童に合わせた支援を邁進して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	1	1	先生方よく見てくださっているので感謝しております。子供の話をよく聞いて下さりありがとうございます。ただ体調を崩す事が多く休む日も多くすみません。	児童に合わせた支援を邁進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後くらぶエイト					公表日	令和7年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員の入退職があり、手薄になる事がある。	職員配置は足りており、必要な時は調整している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	段差がある所は台座を設置するなどの対策している。	玄関はスロープ等設置してあるが屋内は少し段差がある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		心地良く過ごしてもらうように毎日清掃を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域をバランスよく取り入れるようにしている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後必ず共有する場を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		職員間で話をしながら記録にまとめて記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			障害福祉サービス事業所へ移行する児童がない為、情報提供する機会がないので今後考えていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			計画していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後交流を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後研修会等計画していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		定期的に計画して設ける予定です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報の取り扱いについては全職員に周知している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		計画していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在、アレルギーの児童がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		身体拘束する児童がいない。 もし、必要な場合には保護者と話を行う。	